

谷はやし込み保存会 令和6年度の取り組み

谷はやし込み行列

今年は25周年。仮装した役者を35名と多くして谷教会から伊良神社までの行列を8月15日に行った。来賓の出席により今後の励みになった。谷区活性化の為、元区民の協力のもと、文化庁勝山市文化財記録実行委員会により、覚え書きも作成した。



谷区お面さん支援事業

県内有数の豪雪地帯として知られ、一晩で1メートルもの雪が降り積もることもある谷地区で行われる「お面さんまつり」はインネン（延年能）に由来します。近年は2月16日に近い土曜日に谷区お寺で行っており、谷はやし込み保存会は側面から支援する事業をしてきました。「谷のお面さん」御開帳に合わせて、ござ帽子とお面、ろうそくで作り上げた雪像等で盛り上げてきました。参加者に山菜の盛り合わせ等のサービスも行ってきました。しかし、役員の高齢化に伴い、来年からは中止とします。また、場所も谷区お寺から集会所に移して谷区の行事として行なわれます。

長い間ご協力いただいた会員さん、参加者の皆様ありがとうございました。

谷地区のお面さん御開帳はこれからも続きます。

大きさや形が違う「石垣」のようなスポーツによるまちづくり

スポーツによるまちづくりは、石垣のように、石の形状がそれぞれ違い多様で、それをうまく組み合わせて、力を発揮できる石垣型の地域づくりが必要です。従って、地域づくりには伝えるだけでなく、聞く技術も重要と考え取り組んでいます。



公共施設とのコラボレーション

クラブ活動が、市公共施設とのコラボレーションがままならぬ現状から、市内の地域資源の活用に併せて市外のスポーツ資源の現場である地域の理解と協力で、NW ツーリングから満ち溢れる「観光まちづくり」実現の醸成・発信に寄与。



蕎麦と JAZZ のコラボレーション

野向町の活性化を目的に、毎月第2土曜日と第4土曜日に「のおき風の郷」の隣の倉庫で「蕎麦とJAZZ」のコラボレーションコンサートを実施してきました。お蕎麦を食べながら生のJAZZライブを楽しめる企画として多くの人達に楽しんでいただきました。町外のお客様が多く、プロで活躍されているミュージシャンの方も出演してくださり、野向町の自然豊かな風景を愛でながら、JAZZの音色に心癒される時間を過ごしました。



農村 RMO の取組

野向町の地域と農業を守り、地域の活性化に繋げる活動の一環として、国や県が推進している農村 RMO（農村型地域運営組織）のモデル地区として本年度から活動を始めました。複数の地区の機能を補完して、農業を核とした経済活動と併せて、生活支援等地域コミュニティの維持のために活動しています。



いのせボーノくらぶ 令和6年度の取り組み

産業フェア出店

ジオアリーナの中での野菜物販。以前は5～6店舗地元の野菜を販売していましたが、今回は3店舗。でも若い店舗もあり心強かったです。勝山でこんな野菜が栽培され販売しているのと、お客様が感心し買ってくださいました。交流もでき楽しい一日でした。



いのせ文化祭出店

毎年恒例の出店。揚げ物・ポップコーン・地元野菜など販売。いつもの元気な人たちが寄ってくれて、世間話に花咲かせ買ってくださいました。又中学生の2名も応援してくれ大変助かりました。



勝山市ジオパークガイドの会 令和6年度の取り組み

スノーシューで村岡山に登ろう

1週間後の「スノーシューで村岡山に登ろう」の下見をしました。動物の足跡でクイズ、冬なのに緑の葉をつけている植物、鳥の声を聴き、キツツキの食痕を確認し、スノーシューで本番さながら楽しかったです。



村岡山の保全活動

例年、夏にかけて登山道や山頂付近の郭（くるわ）、堀（ほり）等に雑草が生い茂り、景観を害し、登山者への危険が危惧されるため、安全かつ快適に登山ができるように、村岡町連合壮年会と合同で登山道整備と草刈りを実施しています。



山城跡先進地視察（三床山）

今後の村岡山保全活動の参考とするために、鯖江市の三床山城跡を視察しました。山頂には伐採した木材を利用したオブジェがあったりと色々工夫されていました。ガイドの方から今までに苦労された事、やり方などの話をお聞きし有意義な視察となりました。



むろこ女性の会 令和6年度の取り組み

旧木下家で落語を聞こう

歴史的建造物と伝統芸能を学ぼうと旧木下家で落語を楽しみました。江戸時代後期に建てられた庄屋屋敷の説明を受けた後、落語を聞いて大笑いし、座敷で頂くお茶や和菓子に大満足の時間が流れました。



小学3年生赤とんぼ学習

毎年、村岡小3年生に、赤とんぼを勝山の宝にして守っていこうと保全授業をさせてもらっています。赤とんぼ看板作りをしたり、アキアカネの産卵観察や卵採取など実施しています。



平泉寺を学び、発信する

平泉寺の魅力を学び SNS を通じて発信する事業を行いました。2025 年 5 月に 33 年に一度の御開帳が行われるということで、まずは勝山青年会議所のメンバーが魅力を学びました。発信の場をフォトコンテストという形で観光客の方々にも参加していただき、感じた魅力を発信していただきました。大変多くの方々に周知することができました。

